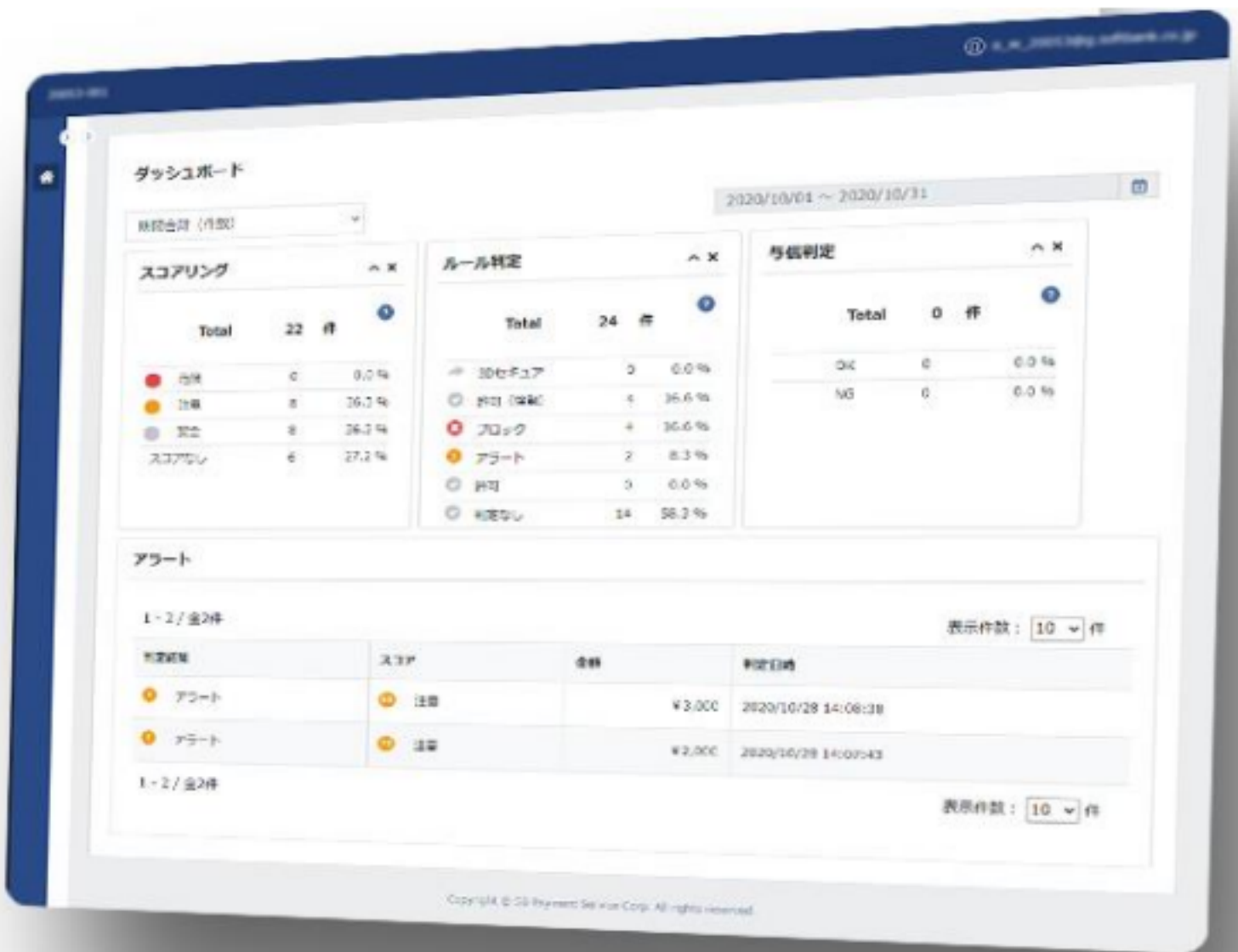


AI不正検知アドバンスプラン

サービス仕様説明資料



特長

- ・スコアやデバイス情報の詳細可視化
→ SBPS提供専用管理画面で確認
- ・店舗さま独自のルール設定可能
→ 疑わしい注文を事前抑止、アラート
- ・いつでもルールのチューニング可能
→ 管理画面から店舗様にてルール設定

費用

- ・月額費用30,000円のみ

- **レピュテーションリスクに備え、
自社で能動的に不正利用対策を行いたい！**

＜活用例＞

CSRとして対外的に打ち出し。

- **クレジットカード会社任せではなく、
自社で認証対象のコントロールを行いたい！**

＜活用例＞

EMV 3-Dセキュアの導入は行いつつ、
正当なユーザは認証を要求するルートから除外。

SBPSの専用管理画面で不正注文のパターンを把握

スコアなどを確認

ダッシュボード > 結果確認 (注文)

結果確認 (注文)

2021/09/09 00:00 ~ 2021/09/09 16:15

表示件数: 10 件

判定結果	スコア	金額	顧客ID	ブランド	カード番号 (下4桁)	カード発行国	判定日時
判定なし	63 中リスク	¥12,000	CUSTID02	Mastercard0006	CHN	2021/09/09 16:15:00
判定なし	64 中リスク	¥12,000	CUSTID02	Visa0002	USA	2021/09/09 16:14:00
判定なし	62 中リスク	¥12,000	CUSTID01	Visa0001	JPN	2021/09/09 16:14:00

スコア
スコアは0から99の間で算出
数値が高いほどリスクが高いと
AIが判定した取引

スコアレベル
スコアをラベルでも表現
高リスク 赤 86以上
中リスク 黄 60~85
低リスク 灰 0~59

カード発行国
Visa、Mastercardの場合は、
カード発行国を表示

カード番号
同一のカード番号での過去の注文を一覧で確認可能に
※他に、カード番号をハッシュ化された形式で確認可能

SBPSの専用管理画面でルールを設定

ルールを設定

ルール項目
120の項目を利用し
ルールの作成が可能

ルールを追加

ルールID

ルール説明

判定結果

有効 有効 無効

後続スキップ スキップする スキップしない

ルール

+ and条件を追加する

+ or条件を追加する

キャンペーンコード_ブロックリスト
顧客ID_許可リスト
キャンペーンコード_許可リスト
商品カテゴリ_ブロックリスト
言語_許可リスト
カード番号 (HASH) _許可リスト
カード発行国_許可リスト
カード発行国_ブロックリスト
カード番号 (HASH) _ブロックリスト
商品ID_ブロックリスト
言語_ブロックリスト
BIN_許可リスト
BIN_ブロックリスト
カード発行国_ブロッ

ルールを追加する

キャンセル ×

リスト登録
数種類のリスト登録が可能

- カード番号 (HASH)
 - 顧客ID
 - カード発行国
 - 言語
 - IPアドレス
 - IPアドレス (国)
 - BIN
- など

リアルタイムにスコア算出と一緒にルール判定を実施 ルールの判定結果ごとに次の行動へ

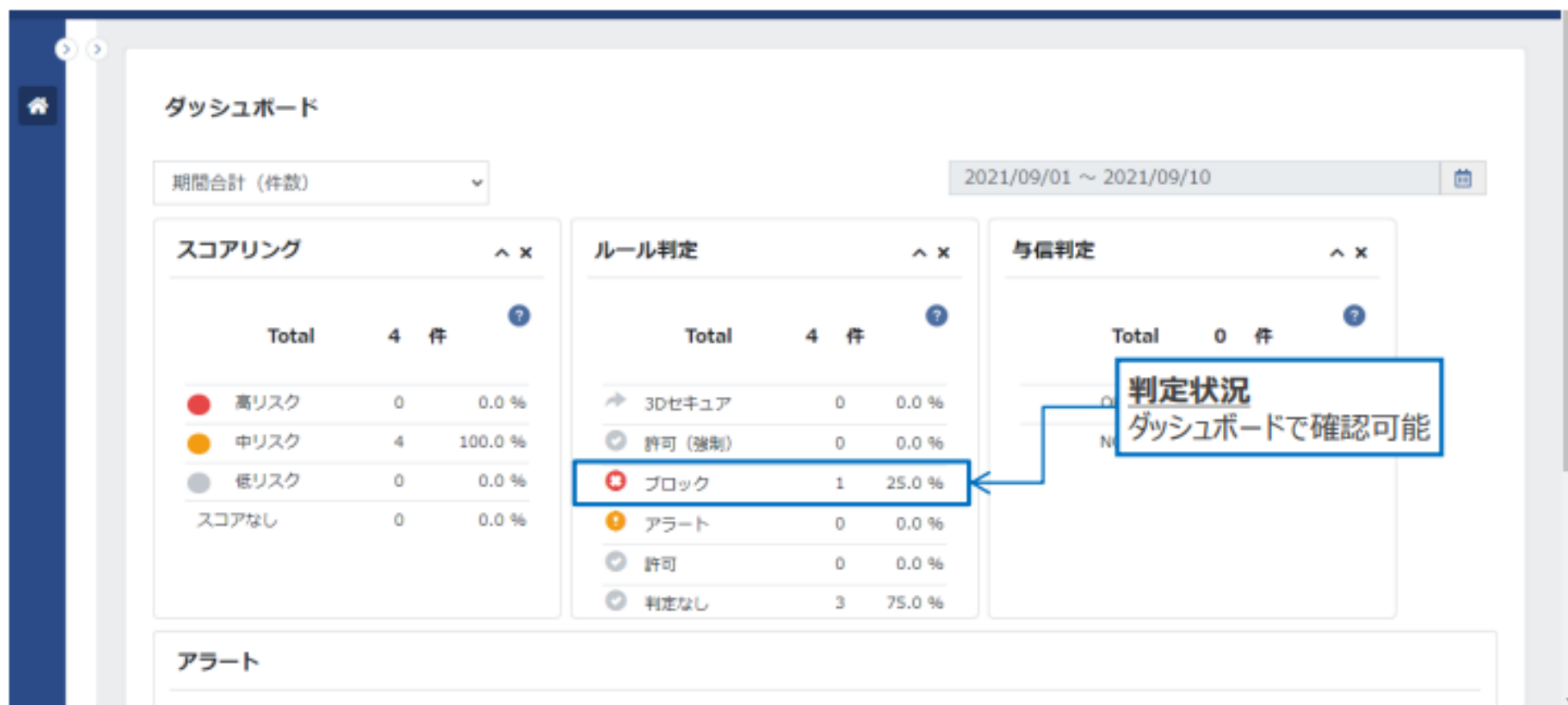


判定結果ごとの次の行動

判定結果	次の行動
3Dセキュア	本人認証を実施
許可（強制）	本人認証をスキップ
ブロック	購入停止
アラート	本人認証をスキップ アラートの印をつける
許可	本人認証をスキップ
判定なし	本人認証を実施

SBPSの専用管理画面でルール判定状況を確認

ルール判定状況を確認



3Dセキュア

- スコア〇〇以上のリクエストを3Dセキュアする

許可（強制）

- 「カード番号（HASH）_許可リスト」に登録された番号でのリクエストを許可する
- 「顧客ID_許可リスト」に登録された顧客IDでのリクエストを許可する
- 「IPアドレス_許可リスト」に登録されたIPアドレスでのリクエストを許可する

ブロック

- 「カード番号（HASH）_ブロックリスト」に登録された番号でのリクエストをブロックする
- 「顧客ID_ブロックリスト」に登録された顧客IDでのリクエストをブロックする
- 「IPアドレス_ブロックリスト」に登録されたIPアドレスでのリクエストをブロックする

アラート

- 日本語以外の言語のリクエストをアラートする

動的不正対策

ホワイトリストとして活用

動的不正対策
ブラックリストとして活用

目検チェックの参考情報
として活用

目検でルールが確定してきたら
3Dセキュアのルールへ設定へ

自社の不正発生状況や不正対策方針に合わせて、選択可能

サービス名	価格	組み合わせパターン			
AI不正検知（フリープラン） for futureshop	0円	○	○		
EMV 3-Dセキュア（3Dセキュア2.0）	0円		○		○
AI不正検知（アドバンスプラン） for futureshop	30,000円/月			○	○

**本人認証の出現率（≒かご落ち率）は実績が少なく不確定要素
組み合わせることによって、かご落ちのリスクを低減できる**

	3Dセキュア1.0 (現行バージョン)	3Dセキュア2.0 (EMV 3-Dセキュア)	AI不正検知 (アドバンスプラン) EMV 3-Dセキュア+AI不正検知
本人認証の出現率 (≒かご落ち率)	ユーザーすべてに 認証画面を表示	クレジットカード会社の判断 で認証画面を表示	店舗さま独自のルール設定によって 店舗さまで認証対象を選別
チャージバックの負担	クレジットカード会社負担		EMV 3-Dセキュア対象とした注文は、 クレジットカード会社負担

他社の専用サービスとは異なる部分も多い 決済代行事業者ならではの「仕組み・経済条件」が特長

比較項目	他社の不正検知サービス （専用サービス）	AI不正検知（SBPS）
①コスト	月額固定費 + 決済あたりの手数料	月額固定費
②利用する情報	購入者の入力情報、デバイス情報など	決済情報
③導入時の手間	情報取得のための開発・ 個人情報取得のための規約変更	特になし （専用JavaScriptを決済画面に設置）
④導入開始後	（サービスによる） コンサルタントが定期的に提案	店舗さま自身でルールをチューニング
⑤期待できる導入効果	アカウント登録時の入力異常を 利用した不正アカウントの登録阻止	他の店舗利用での決済行動を 利用した不正検知

EOF